

4 インフラメンテナンス予算の確保について

【国土交通省・農林水産省】

長野県の状況

● 老朽化する社会基盤施設の適切な維持管理・更新が急務

- ・ 建設後50年を経過する社会基盤施設が、2033年には道路橋の約63%、トンネルの約42%、河川管理施設の約62%、下水道管渠の約21%、基幹的農業水利施設の約44%に達する見込み
- ・ 今後も社会基盤施設を適切に維持管理していくためには、**予防保全の考えに基づいたメンテナンス**を行うことが重要
- ・ **着実に進行する社会基盤施設の老朽化**に対応するためには、膨大な予算が必要となることから、インフラメンテナンスのための**財源確保の議論が必要**

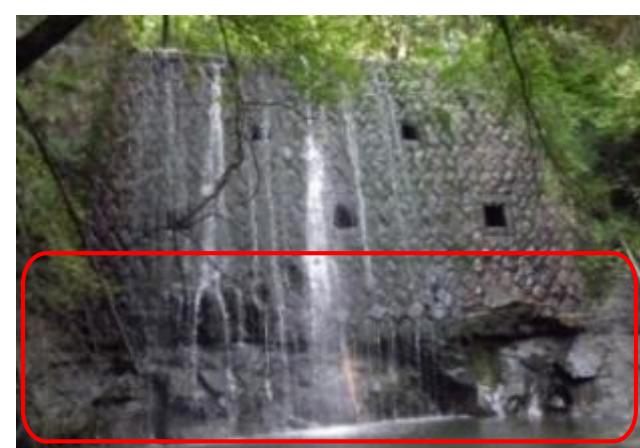
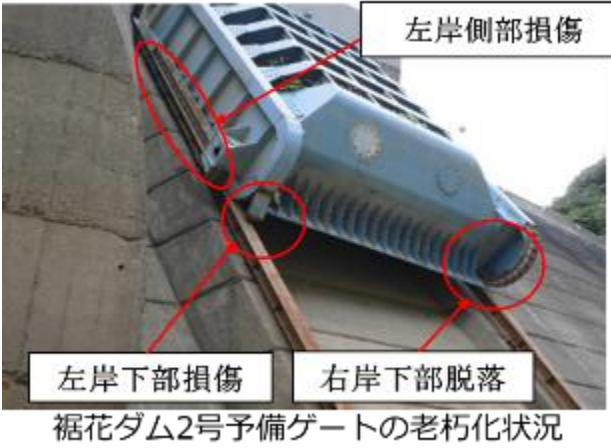
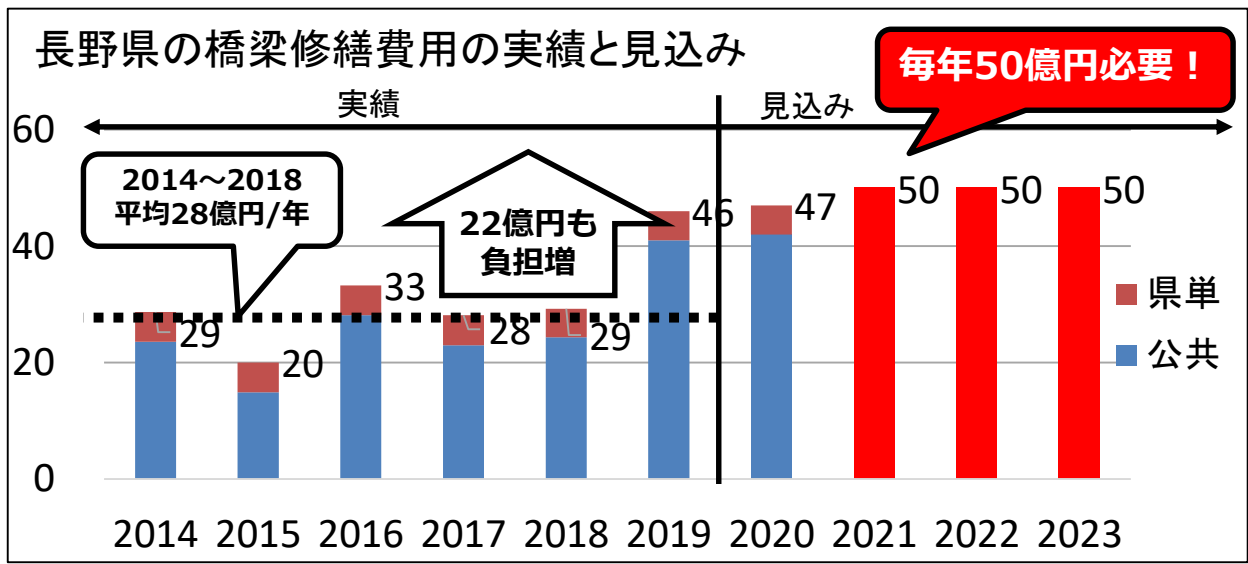
取組

○ 道路施設

- ・ 橋梁・トンネル等の法定点検は平成30年度で一巡目が完了
- ・ 橋梁では約25%が早期に措置を講ずべき状態
- ・ 今後5年間で、県管理橋梁の約900橋もの修繕が必要な状況
- ・ 約900橋の修繕費用は、およそ**250億円**
- ・ 5年間で完了させるためには、**年間50億円**の予算が必要
- ・ 舗装等の法定点検対象外施設も、修繕が喫緊の課題

○ 河川施設

- ・ ダム等の重要河川施設の**長寿命化計画を策定**
⇒ **予算の不足により計画に沿った維持管理・更新に遅れ**
- ・ 計画を上回るスピードで貯水池内の堆砂が進行し、**早急な堆砂対策が必要**
県管理17ダム中、4ダム（裾花ダム、奥裾花ダム、湯川ダム、松川ダム）で計画堆砂ダム100%超



○砂防施設

- ・平成30年7月豪雨を受け、**石積砂防堰堤の緊急改修**を実施
- ・**緊急浚渫推進事業債**を最大限活用し、堆積土砂の浚渫を実施

○下水道施設

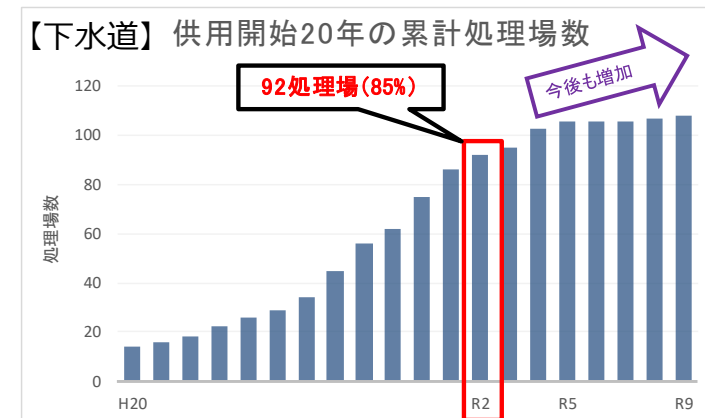
- ・下水処理場は代替がきかない施設のため、故障は日常生活や社会活動に重大な影響
- ・県内の処理場は108(全国第3位)あり、**約8割が耐用年数超過**

○公園施設

- ・**公園施設老朽化対策**を県内23市町村と共に実施

○農業水利施設

- ・**基幹的農業水利施設**の機能保全計画を、令和2年度までに全て策定
⇒ 今後、計画に基づき補修・更新を実施



遊具の老朽化状況



課題

- **着実に進行するインフラの老朽化の対策**を行っていくためには、**予防保全に基づくメンテナンスサイクル**を徹底し、**ライフサイクルコストを一層低減**させることが必要
- 予防保全に基づき、**適切かつ計画的な維持管理・更新**を進めて行くためには**膨大な予算の確保**が必要

『骨太の方針2019』では、社会資本整備について「受益者負担に基づく観点や点検を踏まえた対策を確実に実施し適切な維持管理を行う観点から、**財源対策等について検討**を行う」とされている

提案・要望

インフラの長寿命化対策への支援

地方公共団体が、予防保全の観点から**インフラの長寿命化対策**を着実に進められるよう、**新たな財源を確保**し、適切な**財政支援**を行うこと